※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	教養研究 A	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	高校生のための 10 分間基礎トレ　進路ガイド＋演習						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・就職を志望する生徒を対象とし、就職試験を見すえて筆記試験対策や面接指導を十分に行うことを目的とする。後半は、語彙力の充実や敬語の使い方、手紙やあいさつ文など基本的な文章の作成方法などを身に着け、社会人として必要な一般常識を習得することを目的とする。

2　学習の到達目標

[知識及び技能]：就職試験に出題される科目の内容を知り、その問題を解くことができる。就職試験の面接で問われる内容を知り、答える際の形式的な言葉を知る。
[思考力、判断力、表現力等]：適性検査や SPI の問題に触れ、言語分野、非言語分野の問題を解くことができる。面接でよく問われる話題について、企業がそれを問う意図を理解し、自己 PR などをまとめることができる。
［学びに向かう力、人間性等］：社会人になるとはどういうことか、その自覚を促す。尊敬できる周囲の大人から得られたものを自分で実行できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	副読本を使用し、社会的な話題や時事問題等の幅広い話題について一般教養を身に着ける。また、就職試験で必要な基本科目の出題傾向を把握し、解き方を習得する。 社会人として身に着けるべき礼儀作法やマナーを習得する。 どのような会社があるのかを俯瞰する。	身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う。 社会的な話題や時事問題等の幅広い知識について理解したものを適切に伝える力を身に着け、面接などに応用できるようにする。	自分の適性を考え、どのような会社がよいか主体性をもってパンフレットや求人票を調べる。 また興味のある会社の就職試験科目を調べ、傾向と対策を練る。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	一般常識・SPI 面接練習	a:就職試験に出る試験内容を把握する。 面接で何が問われるかを知る。 b:ワークに取り組み、就職試験の概要を把握する。SPI の出題形式になれ、正解を出すプロセスを知り、問題を解くことができる。 面接の形式をしり、適切にふるまうことができる。また自分を客観的に見つめ面接の練習で自己 PR を言えるようになる。 c:他者に聞いたり、自分を見つめたりすることによって自分の適性を知り、希望する企業を決定しようとする。	授業内提出物 授業内の発言	ワークシート	行動の観察
2学期	一般常識・SPI 面接練習	a:志望企業のパンフレットや HP を見てその企業活動の内容や具体的な仕事内容を調べる。 b:一般常識や SPI の試験問題を数多くこなしてなれる。またクレペリン検査などの適性検査の形式にも慣れる。履歴書の志望動機を書く。 c:応募前職場見学に行く前といった後での企業の印象の違いを自分なりに分析する。働くことの実際的な意味を実感し、ほかの企業なども調べつつ応募企業を決めていこうとする。	授業内提出物 授業内の発言	ワークシート	行動の観察
3学期	お礼状の書き方 冠婚葬祭に関する知識	a:社会に出た際に必要な書類の形式を知る。 b:お礼状などを季節の言葉を添えて書けるようになる。また社会的慣習として必要な、お葬式や結婚式などの冠婚葬祭の礼儀を身に着ける。 c:社会人として生きるということは学生とはどう違うのかを考え、自分なりの考えを持つ。常に疑問を持ちながら、社会の中で働く自分をイメージできるようにする。	授業内提出物 授業内の発言	ワークシート	行動の観察

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・「高校生のための 10 分間基礎トレ　進路ガイド＋演習　」　…　（　15　）時間

・問題の解答や面接練習　…　（　10　）時間

・社会人としてのマナー　…　（　10　）時間